

シノドスのための祈り

Adsumus Sancte Spiritus
(シノドス第2会期 ローマ 2024年10月2-27日)

聖霊よ、わたしたちはあなたの前に立ち、あなたのみ名によって集います。
わたしたちのもとに来て、とどまり、一人ひとりの心にお住まいください。
わたしたちに進むべき道を教え、どのように歩めばよいか示してください。
弱く、罪深いわたしたちが、一致を乱さないよう支えてください。
無知によって誤った道に引き込まれず、偏見に惑わされないよう
導いてください。あなたのうちに一致を見いだすことができますように。
わたしたちが永遠のいのちへの旅を続け、真理と正義の道を迷わずに
歩むことができますように。
このすべてを、いつどこにおいても働いておられるあなたに願います。
御父と御子の交わりの中で、世々としえに。アーメン。



ともに歩む教会の心構え

すべての人への宣教には、皆で取り組む必要があります。ですから、福音に仕える、ひたすらシノドス的で
宣教的な教会を目指す道を歩み続けなければなりません。シノダリティはそれ自体宣教的であり、
逆もまたしかりで、宣教は必ずシノドス的です。 教皇フランシスコ2024年「世界宣教の日」メッセージより

2 「出て、だれでも婚宴に連れてきなさい」

(マタイ 22:1-14 参照)

Step 2: イエスは扉を内側からたたいている

すべてのキリスト者は、どんな環境においても、福音について自分に固有のあかしをもって、全世界への宣教に加わるよう求められています。それは、教会全体でもって、主であり師であるかたとともに、今日の世界の「町の大通り」にたえず出ていくためです。そうです。今日の教会の悲劇は、イエスが扉を内側からたたき続けているのに、わたしたちが、イエスが外に出られないようにしていることです。主が来られたのは宣教のためで、わたしたちが宣教者となることを望んでいるのに、主を『わがもの』として引き留め、出て行かないようにしているのです。

教皇フランシスコ 2024年「世界宣教の日」メッセージより



全世界の福音宣教に思いをはせながら、祈りの旅を続けましょう。今週は**アジア**大陸に生きている人々のために祈りましょう。

すべての民の希望である聖マリアよ、あなたの子、イエスへの信仰のために迫害を受けているアジア大陸の兄弟姉妹を助けてください。武器をもった戦いをやめて、あなたの子供として互いに愛し合うことができますように。アーメン。

PROCLAMATION

聖アンデレ・キム・デゴン司祭のあかし



約 200 年前、韓国は大変厳しい迫害のさなかにありました。殉教した最初の司祭聖アンデレ・キムの模範から二つの側面を見てみましょう。

一つ目は、迫害中彼が、信者たちとどのようにして出会わなければならなかったかです。とても危険な状況の中で、彼は短い時間で、相手と普通に言葉を交わしているかのように見せかけ、相手がキリスト者であると確認するために工夫をしていました。まず、前もって決めておいたしるしを自分の服の上に、または手の中にしてから、こっそりと聞きます—「あなたはイエスの弟子ですか?」。聖アンデレ・キムにとってキリスト者とは「何者なのか」。それは一言でいえば、「キリストの弟子」だったのです。主の弟子であるとは、イエスを宣べ伝え、あかしする者です。周りの環境が好ましくないときでさえ、その情熱は変わりません。

二つ目の側面を、具体的な事例で見てみましょう。聖アンデレ・キムがまだ神学生だったとき、外国からの宣教師たちを密かに迎え入れる方法を探さねばなりません。ある時、彼は雪の中を、何も食べずに歩いていました。あまりにも長時間歩いたので、疲れ切って、雪面に倒れてしまいました。するとその時、突然、「立ち上がって、歩き続けなさい」という声を聞きました。その声で聖アンデレ・キムは意識を取り戻し、導いてくれるかたの影のようなものを見ました。このことは、使徒的熱意とは何であるかを教えてくれます。それは、倒れたり、つまずいたりしたときに、もう一度立ち上がる勇気のことです。聖ペトロを思い起こしましょう。ペトロは大きな罪を犯しましたが、神のいつくしみのうちに力を見出し、再び立ち上がりました。聖アンデレ・キムにも、この力を見ます。

教皇フランシスコ、2023年5月24日一般謁見演説より

主日の福音から黙想のヒント

年間第 28 主日



「行って持っているものをことごとく売り、
貧しい人々に施しなさい...

それからわたしに従いなさい」 (マルコ 10.17-30)

宣教の根本の姿は“裸”の姿です。すなわち持つのはただ自分自身。物への依存から解放されて、御父の愛を歩いて説かれるイエスの生き方を模倣しようとするのです。

ともに祈りましょう (共同祈願)

- ☆ キリストの愛が、みことばを通して日曜日の聖堂で宣言されているように、わたしたちの奉仕を通して輝きますように。
- ☆ 日本のカトリック教会がイエスの愛を宣言するために信仰養成を大切に、キリスト者が自分が信じていることを誰にでも説明することができますように。

典礼と祈り



宣教のロザリオ

アジアのためにロザリオの一連を唱えましょう